

アドバイス

資格を取得して実力を示そう

電気電子情報工学科では、電気物性や電気現象を把握・解析するために必要な基礎学力を養成し、実験・実習によって電気現象等を実地に会得し、更に各種分野の高度な応用技術を修得して、多くの分野で研究や実務を主導できる**21世紀の社会を担う電気・電子・情報技術者の育成**に力をいれています。

電気・電子・情報技術者が活躍する分野は、電気エネルギーの発生・伝送、光およびエレクトロニクスの基礎と応用、情報処理および情報通信など幅広い分野にわたります。したがって、取得する資格もそれに関連して数多くありますが、今後就職活動や就職後に役立つ資格を一覧表にまとめました。資格を取得することは「**実力を認めてもらう**」ことであると同時に「**プロとして仕事のできる機会や幅を広くする**」ことにもつながります。したがって、**積極的に資格・検定に取り組むことを推奨**しています。資格を取得するには、関連する多くの科目を勉強している今が大変良い機会であり、同時に授業の内容をより深く理解することにもつながります。

次のことや表を参考にして、早い機会に**資格取得に是非チャレンジ**して下さい。

1. 資格には「取得することで、管理監督ができるようになる」もの（例えば電気主任技術者や電気通信主任技術者など）と「工事や操作ができるようになる」（例えば電気工事士や工事担任者AⅠ・DD種など）資格とがあります。表に概要を記していますので、これを参考に先ず資格の概要を把握して下さい。
2. 試験日は、年度によって若干ずれる場合があります。願書受付は、それより2～3ヶ月以前になります。なお年に1回しか試験がない資格も多いので、事前に十分チェックのうえ計画することが必要です。
3. 同じ資格でも種別で難易度が異なります。まずは取り組み易い資格から挑戦して下さい。
4. 各資格・検定に関する窓口の先生を表に記入しています。状況がわかりにくい場合は、直接相談して下さい。

資格の内容や試験内容についてもっと詳しく知りたい場合は、図書館3階の資格書コーナーに参考図書があります。活用して下さい。

おすすめ
受験資格

在学中に受験可能な資格試験	電気主任技術者	電気工事士
	電気工事施工管理技士	電気通信主任技術者 (第一種伝送交換、第二種伝送交換、線路)
	工事担任者AⅠ種(三種、二種、一種)	工事担任者DD種(三種、二種、一種)
	工事担任者AⅠ・DD総合種	特殊無線技士(各級)
	陸上無線技術士	基本情報技術者
	応用情報技術者	ITパスポート検定
	G検定(JDLA Deep Learning for GENERAL)	